

2 スポーツの聖地づくり総合推進PT概要

- 『静岡県スポーツ推進計画』の基本理念である「スポーツの聖地づくり」を実現するため、目標に向けたイメージ共有と、施策推進に必要な調整を行う「スポーツの聖地づくり総合推進プロジェクトチーム(PT)」を設置【平成30(2018)年10月】
- 当時の吉林副知事と土屋副知事(オリンピック・パラリンピック担当)をプロジェクトリーダーとして、4つのタスクフォースを設置
- スポーツ担当部長が、タスクフォースリーダーとして、構成員である関係局長を統括

- 各タスク構成員が取り組む内容を示した「アクションプラン」を作成【平成31(2019)年3月】

各タスク構成員がそれぞれの立場で、アクションプランに掲げた取組を推進

毎年度、各タスク構成員の取組実績をまとめ、報告(共有)

【タスク別基本方針書】タスクフォース1：参画人口拡大

区分	内容
名称(分野)	スポーツ参画人口の拡大、スポーツを通じた多様性のある社会の実現
メンバー	くらし・環境課 男女共同参画課、多文化共生課 スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課、私学振興課、大学課 健康福祉部 長寿政策課、こども未来課、障害者政策課、健康増進課 教育委員会 健康体育課、義務教育課
重点対象者	乳幼児、児童・生徒(小・中・高)、 社会人(特に女性)、高齢者、障害のある人
プラットフォーム	乳幼児の保護者、学校・地域のスポーツ指導者、企業経営者、市町、県
目標 (2021年度)	＜スポーツ参画人口の拡大＞ ・ 成人の週1回以上のスポーツ実施率:65% ・ 新体力テストの記録が全国平均を上回る割合:100% ＜スポーツを通じた多様性のある社会の実現＞ ・ 静岡県障害者スポーツ大会出場者数:3,500人(2021年度) ・ 成人女性の週1回以上のスポーツ実施率:65%
目的・ 取組方針	・ 県民の誰もが、各々の年代で関心・適性に応じて、日常的にスポーツに親しかつ機会を充実させる。 ・ 生涯にわたるスポーツライフの確となる運動習慣、体力向上を図るため、学校や地域における子供のスポーツ機会を充実させる。 ・ 誰もがスポーツに関心を持ち、親しむことができるよう、社会全体で積極的に環境を整備し、障害者スポーツの振興、女性のスポーツ参画機会の拡大を図る。
令和3年度の 取組 (主な取組)	○乳幼児期における運動習慣の確立 ・ 乳幼児期における運動習慣の確立に向けた、地域交流施設やショッピングセンター等での親子運動あそび体験イベントの実施(ショッピングセンターは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止)、プログラムシートを作成 ○児童期における運動習慣の確立と体力の向上 ・ 小学生の体力向上に向けた実技指導者派遣や、体の動かし方の指導講師の派遣等 ○青少年期における運動習慣の確立と体力の向上 ・ 生徒のニーズに応じて充実した部活動が実施できるよう中・高・特別支援学校へ外部指導者(スポーツエキスパート・部活動指導員)を派遣 ○成人期に地域社会や職場でスポーツに親しむためのきっかけづくり ・ 誰でも気軽に参加できるレクリエーション・スポーツの振興に向けて、県民スポーツ・レクリエーション祭を実施 ・ 企業や事業所の健康経営を推進するため具体的な目標を宣言する「ふじのくに健康づくり推進事業所」の拡大 ○高齢期の健康長寿のためのスポーツ推進 ・ 健康長寿の3要素(食生活・運動・社会参加)を普及するための「ふじ33プログラム」の実施 ・ スポーツや文化活動を通じた健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりを推進するための、オアシスカ長寿祭スポーツ・文化交流大会の開催(参加選手3,387人R4.2月末時点)、全国健康福祉祭(おんりんピック)は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ○障害のある人のスポーツ参画推進 ・ 障害者スポーツの振興に向けたスポーツ用具貸与、指導員派遣、スポーツ教室の開催、指導員養成等 ・ 静岡県ブレードランニングクリニックの開催(コロナで中止) ・ 障害者スポーツ大会「わかふじ大会」開催(8競技641人) ・ パラスポーツ運動会の開催(パートナー企業、県内大学など16チーム約200人) ○女性のスポーツ参画の促進 ・ 自宅やオフィスで作業をしながらできる運動の動画「いつでもどこでもストレッチ」を配信

【タスク別基本方針書】タスクフォース2：「人材」と「場」

区分	内容
名称(分野)	「人材」と「場」の充実(スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実)
メンバー	スポーツ・文化観光部 大学課、私学振興課、スポーツ振興課 健康福祉部 障害者政策課、健康増進課 交通・基盤部 建設政策課、港湾企画課、公園緑地課 教育委員会 教育施設課、健康体育課
重点対象者	スポーツをする機会が少ない、希望する競技を実施できない県民 スポーツ施設設置者
プラットフォーム	各市町(公共スポーツ施設設置者)、民間スポーツ施設設置者、 各市町体育協会、総合型地域スポーツクラブ運営者、スポーツ推進委員、 静岡県スポーツ協会(スポーツ人材バンク管理者)
目標 (2021年度)	県立水泳場及び富士水泳場の利用者数:年間31万人以上 県武道館の利用者数:年間31万人以上
目的・ 取組方針	・ 県民が主体的にスポーツに参画するために、地域においてスポーツ活動を支える指導者や専門スタッフ、審判員等、スポーツに関わる人材の育成を図るとともに、地域の既存施設の有効活用等により、安全にスポーツ活動を行うことができる空間をできるだけ多く提供する。 ・ スポーツ指導者、スポーツ施設の充実を図るとともに、地域スポーツクラブの質的充実を図るために中間支援組織による総合型地域スポーツクラブの登録、認証等の制度の整備を支援する。 ・ まちづくり・地域活性化を推進する「地域スポーツミッション」の活動を支援する。
令和3年度の 取組 (主な取組)	○スポーツに携わる多様な人材の育成と活躍の場の確保 ・ 市町スポーツ主管課長、市町スポーツ担当者への研修を実施 ・ 総合型地域スポーツクラブ代表者への研修を実施(1回) ・ 県スポーツ推進委員連絡協議会への助成 ・ 県内企業等へのレクリエーション指導者を派遣(4回)、アビタ・イオンでの親子遊びイベント実施(新型コロナウイルスの影響により中止) ・ スポーツ少年団交流大会の開催(2回)、自独スポーツ少年団オンライン交流の実施 ・ ふじのくに3プログラムの推進による健康寿命の延伸 ・ スポーツ人材バンクの活用 ・ トップアスリート等を中学校部活動へ派遣 ○スポーツを通じて元気な地域を作る地域スポーツクラブ等の充実 ・ 広域スポーツセンター業務委託(公財)県スポーツ協会)の実施 ・ 総合型地域スポーツクラブ会員による交流会の実施(1回) ・ 各スポーツ産業振興協議会との連携 ○多くの人がスポーツに親しむことができる場の提供・確保 ・ スポーツ施設、各学校の施設管理運営費による適正管理 ・ 指定管理者によるスポーツ施設での教室等の充実 ・ 県営都市公園の適正管理 ・ 施設の安全点検結果に基づき改修工事の実施 ・ 竜光樹示版(袋原広域公園多目的競技場)更新工事の実施 ・ 安全な走行空間の提供を目的とした、県管理道の歩道橋架設延長(27%・2021年度) ・ エコパラグビーボール設置(人工芝グラウンド) ・ 日本JSC伊豆MTRコースの整備(上級～初級)支援

【タスク別基本方針書】タスクフォース3：地域活性化

区分	内容
名称(分野)	地域活性化(スポーツを通じた地域の活性化)
メンバー	知事直轄組織 地域外交課、危機管理部、危機情報課、経済管理部、地域振興課、スポーツ・文化観光部、スポーツ政策課、スポーツ振興課、DP推進課、観光政策課、観光振興課、空港振興課、経済産業部、商工振興課、教育委員会、健康体育課
重点対象者	県民全般、スポーツ関連団体、観光関連団体
プラットフォームプレイヤー	市町、観光協会、地域DPO、競技団体、西部スポーツ産業振興協議会、サイクルスポーツ聖地づくり地域実践団体、TSJ等
目標(2021年度)	ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技開催を契機にスポーツを活用した多様な交流や産業の振興を推進(スポーツ・レクリエーション交流人口 3,500万人)
目的・取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 県内のスポーツ資源を活用した交流促進を通じて、地域活性化を図るため、県内の状況調査、先進事例の県内事業者等への周知、県内のスポーツ施設や宿泊情報の国内外への発信 県内スポーツ産業の振興のため、聖官学が協働して新たなニーズの開拓や産業化を図る。
令和3年度の取組(主要事業)	<p>○世界的スポーツイベントを契機とした地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピック(オリパラ)関連事業 <ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピックの有観客開催 伊豆半島・東総地域20市町の住民参画による播磨産成 など ラグビー聖地化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 県ラグビー協会法人化支援、太陽生命カップ初開催 日本代表強化試合、静岡ブルーレヴズ設立 日本代表U-19合宿及び女子日本代表合宿の開催(ほか) サイクルスポーツの聖地創造 <ul style="list-style-type: none"> 聖地創造会議1回、幹事会2回、部会各3回、市町連絡会3回 地域の実情に応じたサイクル関連事業を実施(県内4地域) サイクルツーリズムの推進、南北サイクルオンライン出版、サイクルwebスタンプラリー <p>○スポーツを通じた多様な交流推進</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ交流推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 合宿誘致の推進を通じた静岡ブランドセールス(展示会出展1回) 大規模スポーツイベントの開催(富士山女子駅伝) 静岡県市町対抗駅伝等への支援、ビーチ・マリンスポーツに係るHP運営 プロスポーツ連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> 県内プロスポーツチームの広報担当者会議開催によるネットワーク構築、連携ポスター製作(ほか) <p>○スポーツ産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品企画定着促進事業費補助金(観光振興課) <ul style="list-style-type: none"> 国内外からの旅行需要を取り込み、来訪者の滞在期間の長期化や観光消費額の増大を図るための取組を支援(3件)(マリンスポーツアクティビティ関連事業ほか) スポーツ産業振興協議会による活動 <ul style="list-style-type: none"> 理事会、運営会議等を通じた観光への参画(ほか)

【タスク別基本方針書】タスクフォース4：競技力向上

区分	内容
名称(分野)	競技力向上(競技力の向上) クリーン&フェア(クリーンでフェアなスポーツの推進)
メンバー	スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課 健康福祉部 障害者政策課 教育委員会 健康体育課
重点対象者	各競技団体(陸上、サッカー、テニス、バレー、バスケット、卓球、野球、水泳、山岳、体操、ハンドボール、自転車、ラグビー、柔道、相撲、ソフトテニス、弓道、レスリング、セーリング、ボート、バドミントン、ソフトボール、スキー、クレー射撃、ボクシング、フェンシング、スケート、剣道、ホッケー、ウエイトリフティング、ライフル射撃、馬術、アーチェリー、空手道、銃剣道、ボウリング、カヌー、なぎなた、アイスホッケー、ゴルフ、トライアスロン)に所属するスポーツ選手(トップアスリート)、ジュニア選手、スポーツ指導者等
プラットフォーム	(公財)静岡県スポーツ協会競技力向上委員会、(公財)静岡県障がい者スポーツ協会、各競技団体、学校、地域のスポーツ指導者、県、民間企業(アスリート雇用企業)
目標(2021年度)	<ul style="list-style-type: none"> 国民体育大会における総合成績8位以内
目的・取組方針	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピックをはじめとする各種の国際大会や、国民体育大会等の全国大会において、優れた成績を上げ、県民に夢と希望と感動を与えるアスリートを増加させる。 ジュニア期からトップレベルまでの体系的な人材育成と、指導者の資質の向上等の環境整備により、競技力の向上を図る。 スポーツ団体における組織運営の透明性を確保する。 競技団体・アスリート等に対するフェアプレイ精神の醸成、ドーピング防止活動の充実等により健全なスポーツ社会の実現を図る。
令和3年度の取組(主要事業)	<p>○ジュニア世代の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ジュニア選手育成を目的としたトレセン方式、強化拠点方式、指定校・クラブ方式での競技力向上策への支援(30競技) ジュニアのトップ選手育成のための県内中学・高校の運動部活動の支援 中学生を対象とするトップアスリートによるクリニック(7回) ジュニアアスリートの選考会(適性診断)、競技体験(チャレンジスポーツ教室)、アスリートとの交流(ビクトリークリニック) 団体及び団体ブロックで選を勝ち抜くための強化活動や器具整備等への支援(41競技) <p>○トップアスリートの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> トップアスリートの強化活動の支援(9競技30人) 東京2020オリ・パラ指定強化選手への支援(オリンピック14人、パラリンピック14人) 同体クラスのアスリートの県内定着を目的とした企業とアスリートのマッチング支援 団体出場選手や指導者、アスリート雇用企業等からのヒアリング ICTを活用したリモート指導や戦術分析等、強化活動を再開するための取組支援 <p>○指導者の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得や中央競技団体主催の講習会等への参加促進によるスポーツ指導者のスキルアップ支援 競技団体の強化選手等に対するフィジカルチェックやメンタルトレーニングなどのスポーツ医・科学活用 ICTを活用したゲーム分析(静岡産業大学・スフライザ等) 準高地トレーニング実証実験(運動市スポーツツーリズム推進協議会・静岡大学・順天堂大学等) 世界クラスの優秀指導者を招聘し、競技団体の指導体制強化を支援